

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：令和2年11月30日

事業所名保護者等数（児童数）21回収数15割合71%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	3			テンションが上がった時に他児に害がないか心配です。	テンションが上がったり不穏になった際には別室に移動するかバーテーションで周りとは一度わかることで落ち着かせるようにします。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1		1	・多くの先生がいて良くしていただいています。 ・何人いてどんな資格を持った先生がいるのかわかりません。	基本的には保育士か児童指導員の資格を保有しており、おおむね児童2人に1人ほど職員を配置しております。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1		2	建物内は段差等もなく、先生方が各自気を付けていただいているので心配していません。	教室内は特に段差等はありません。入口に二段ほど段差がございますのでそこは児童と手をつなぐようにしております。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	12	2		1	個人個人の好きなこと（勉強等）に楽しんで取り組む等）がもっと増えたと嬉しいです。	お友達との関わりの中で興味の幅を増やしていけるよう、支援をさせていただきたいと思います。
	⑤ 活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	12	2		1	ドライブは車から降りない時もあるようなので面白くないのではないかと思います。	晴れの日やその日の児童の状況によっては降りて遊ぶこともできますが、状況によっては難しい場合もございます。その中でも好きな音楽を順番に選んでもらったり、選ぶ順番を決めたりと、要素を取り入れています。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	2	1	6	交流があれば色んな子供たちと遊べて楽しみたいです。	コロナ禍ということもあり中々外部との接触ができておりませんが状況をみて取り組みたいと思います。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1				引き続き変更があった際などにもご説明をさせていただきます。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	2	1	1	・先生によるのではないかと思います。 ・親からの無理な相談など早く、きちんと対応してもらえるのでありがたいです。	職員の数も増え、連携不足にならないように今一度情報伝達手段やルールの見直し、また相談をいただく前にこちらからお話を聞きだせるようこちらから情報の収集に向かいたいと思います。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	4	2	2	・送迎の際は話しますが、中々長く時間が取れないため	送迎時だけでなく、毎月の予約の際などご家庭との接触頻度と時間を担保したいと思います。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		4	3	8	今の現状では他の保護者の方と会えていません。	2020年を行う予定ではありましたがコロナ禍ということもあり見送りとなりました。状況をみて取り組んでまいりたいと思います。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			2	色々細かく相談やお願いをすることが多いですが、その度に対応や対策を行い、その後の経過等もきちんとわかるように説明していただけるので助かりますし安心しています。	今後も迅速に社内情報伝達を行い、すぐにご家庭に対して何かしらの返答をすることで不安に感じられることのないよう、安心してお預かりできるよう取り組んでまいります。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1		1		今後も、情報の正確な伝達とより良い支援の両立を目指して変更があった際にはご説明をさせていただきます。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	4		1	インターネット等がないのでプリント等をいただけたら嬉しいです。	イベントの際などはプリントの配布も行っていきたいと思います。またブログの更新頻度も上げていきたいと思います。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	13	1		1	きちんとしていると思います。	個人情報には鍵付き書庫に保管、教室内外部からは見えないようにしています。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	1		2		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1		2	毎月プログラムに入っており、子供も当日の様子を話してくれました。	興味を持って真剣に取り組んでもらえるよう、消防署見学などを通して取り組みたいと思います。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	15				楽しくてテンションが上がりがちすぎてしまうことがありますが、いつも楽しみにしています。	児童が自発的に成長に迎えるよう引き続き支援をさせていただきたいと思います。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	14	1			休みの日ですら、こばんに行きたいと言ってお願いをすることがあるくらいです。	お友達との関わりが面白い、もっと関わりたいと思えることでまたこばんに来たいと思っていただけるよう引き続き支援をさせていただきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業者における自己評価結果（公表）

別紙3

公表：令和2年11月30日

事業所名：こばんはうさくら八幡西割子川教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2		国の設備基準を上回る児童一人当たり3㎡以上かつ死角のない指導員の目が届く1つの空間で集団療育を行えるスペースは十分にある。不穏になったりする際も廊下やパーテーションで区切ってあげると上手くいっている。13名児童が増えて活発に動いている時は少し狭いと感じることもある。
	② 職員の配置数は適切である	8			児童10人に対し指導員2人以上という国の人員配置基準より増員した人員配置を常に行い、児童が少ない日でも4名以上は職員がいる。職員が多くなってきたため、役割分担や連携を強化する取り組みを今後行っていく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			バリアフリーが必要なお子様は現状いっしょらないが、入口の階段や送迎者の乗り降りには職員が手をしっかりとつないで登るようにしている。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	3		役割分担や1日の進行の仕方など何度かトライ＆エラーをしたことでスムーズに業務を進めることができるようになった。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	3		しっかりと職員一人一人がアンケートの結果だけでなく、日頃のご家庭の小さな声にも耳を傾けていけばもっと良い支援ができると思う。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			公表している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			8	現在は利用者と社内の評価のみとなっており、引き続き今後の検討課題としていく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	4	2	3月頃までは毎週研修を行っていたが、緊急事態宣言により朝から児童が来てからはあまり取り組めなくなった。今後はオンライン研修なども検討していく。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			ご契約時、またそれから少なくとも半年毎にアセスメントをとり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成している。必要に応じて担当者会議なども行っている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	8			月に一度（第一金曜日）、2ヶ月先のプログラムについて会議の場を設けています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	3		曜日ごとに言語・運動・座学などかぶらないように設定を行っているがその内容も少し固定化されてきていると思う。本部から配信されるプログラムについての他教室の取り組みなども参考にしつつ、新しい先生も増えてきたので皆で知恵を出し合って、同じことをするにしてもより高いレベルの支援をしていきたい。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	3		緊急事態宣言中は中々活動も制限されることが多かったが、午前中は室内で活動を頑張ったら午後からは公園に行くなどメリハリをつけるようにしていた。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			児童の発達段階に応じて、個別の課題と周囲との関わりなどの集団行動について作成しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	3		毎日朝礼でその日の動き方について確認をしているものの、事前準備が足りないこともあったので企画書の徹底を行っていく。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		終礼にて当日の支援の振り返りを行っており、当日の児童の様子や連携がうまくいかなかったことなども話し合い改善につなげている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			記録については徹底しており、何か問題や不具合があればすぐに職員間で共有・改善を試みている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			最低でも半年に一度は見直しを行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	8			生活動作や集団行動だけでなく、児童にとって憩いの場であり、自主性をもって取り組めるよう心掛けて支援を行っています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉔ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2		開催される場合には、一番その児童のことがわかる職員が参加していますが、可能な限り児童発達支援管理責任者・管理者・指導員が参加しています。
	㉕ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			必要に応じて連携をとりながら、ご家庭のサポートを行っています。
	㉖ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8			*現在該当児童の在籍はありません。*必要に応じて連携について保護者と相談しながら行います。
	㉗ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			基本的にはほとんどの児童が、当教室の児童発達支援からあがってきているので情報は十分にあり、児童も慣れた環境で快適に過ごしていると思います。
	㉘ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		8		現時点で対象となる児童がいないため行っておりません。
	㉙ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		8		センターやセンターに属する相談事業所などの情報共有を行うことがありますが、研修などには至れておらず今後積極的に情報収集に動きたいと思います。
	㉚ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		8		トラブルやコロナ禍ということもあり取り組めていない。今後は状況を見て取り組みたいと考えています。
	㉛ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		8		現在そういった機関への参加は行っておらず、今後必要に応じて参加したいと考えています。
保護者への説明責任等	㉜ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	4		送迎時には長く時間をとれないご家庭あるのでモニタリングシートなどを作成して今後は定期的にニーズのチェックを行う等の取り組みを検討しています。
	㉝ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		8		送迎時やお電話、時には訪問を行い家庭内での課題については一緒に取り組んでおりますが、ペアレントトレーニングについては取り組めておらず、新型コロナの状況をみて勉強会等の開催を検討したいと考えています。
	㉞ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただき、わからないことがあれば質問をしていただいております。
	㉟ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2		日ごろから送迎時にはその日の様子だけでなく、お困りごとなどについても同うようにしており、難しい問題については終礼等で職員間で話し合いを行い、助言や情報提供をしています。
	㊱ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8		新型コロナの流行に伴い行っておりません。今後は状況を見て取り組んでいきたいと考えています。
	㊲ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			相談や申し入れがあった場合、できるだけ早く、最低でもその日中には電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	㊳ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4		ブログにて支援の様子を公開するようにはしておりましたが公開が追いついておらず、最低でも月に一回は更新するよう取り組んでまいります。
	㊴ 個人情報に十分注意している	8			個人情報については契約時に書面で同意をいただいております、個人ファイルについては鍵付きの書庫に保管をしています。また保護者同士が知り合いの場合でもお互いの話はしないなど個人情報に気を配っています。
非常時等の対応	㊵ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			言葉と合わせてサインを併用したり、視覚支援や本人の興味の持ちやすいものを利用するなど伝達方法を工夫しています。その日の活動内容やスケジュール、送迎車やその順番にいたるまでホワイトボードに記載し表示しています。
	㊶ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8		コロナ禍ということあり取り組めていません。状況をみて取り組んでいきたいと思っています。
	㊷ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	4		保護者への周知について十分でない部分もあり、わかりやすくまとめてご家庭にも配布したいと考えています。
	㊸ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2		避難訓練は月に一回以上取り組んでいるが、緊急時の対応方法はまだ見直しの余地があると考えています。
	㊹ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2		社内研修を行い、防止に取り組んでおりますが、今後は機会があれば外部研修にも参加していきたいと考えています。
	㊺ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			身体拘束に関しては、『利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急でやむを得ない場合を除き、行動制限その他利用者の行動を制限する行為を行いません。』という内容を契約時に書面に説明をさせていただいております。※現時点で必要な児童の在籍はありません。
	㊻ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			毎日のお菓子の提供やイベントにおいてもアレルギーは食品保管場所に児童ごとに明記し対応を徹底しています。
	㊼ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	4		作成をする職員に偏りがあつたり、定期的性がなかつたりするので、月に最低でも1つは作成するなどルール作りをしたいと考えています。